

第69回鳥取市民スポーツ大会開催要項



令和8年度

目 次

- 1 競技種目別期日・会場・・・・・・・・ 2～3 頁

- 2 総 則・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～8 頁

- 3 各種目実施要領
 - (1) ゲートボール競技・・・・・・・・ 9 頁
 - (2) ソフトテニス競技・・・・・・・・ 9 頁
 - (3) 卓球競技・・・・・・・・・・・・・ 10 頁
 - (4) グラウンド・ゴルフ競技・・・・・ 10 頁
 - (5) バドミントン競技・・・・・・・・ 11 頁
 - (6) 水泳競技・・・・・・・・・・・・・ 11 頁
 - (7) テニス競技・・・・・・・・・・・・・ 12 頁
 - (8) 弓道競技・・・・・・・・・・・・・ 12 頁
 - (9) ソフトボール競技・・・・・・・・ 13 頁
 - (10) バスケットボール競技・・・・ 13 頁
 - (11) ペタンク競技・・・・・・・・・・ 14 頁
 - (12) 女子バレーボール競技・・・・ 14 頁
 - (13) 男子バレーボール競技・・・・ 15 頁
 - (14) バウンズボール競技・・・・・・ 15 頁
 - (15) 軟式野球競技・・・・・・・・・・ 16 頁
 - (16) 陸上競技・・・・・・・・・・・・・ 17 頁

- オープン種目
 - 剣道競技・・・・・・・・・・・・・ 19 頁
 - 柔道競技・・・・・・・・・・・・・ 19 頁
 - ローイング競技・・・・・・・・・・ 19 頁
 - ソフトバレーボール競技・・・・ 19 頁

- 4 鳥取市民スポーツ大会年度別優勝校区・・ 20 頁

第 6 9 回 競 技 種 目 別 期 日 ・ 会 場

本選（決勝）

種目	会場	期日		予備日および会場
		月日	競技開始	
ゲートボール	美保多目的広場	6月 7日(日)	9:00	6月14日(日) 美保多目的広場
●総合開会式	鳥取市民体育館	6月14日(日)	9:00	
ソフトテニス (Aグループ)	千代テニス場		9:00	7月12日(日) 千代テニス場
卓球	鳥取市民体育館	6月21日(日)	9:00	
グラウンド・ゴルフ	白兔グラウンド・ゴルフ場		9:00	6月28日(日) 白兔グラウンド・ゴルフ場
バドミントン	鳥取市民体育館	6月28日(日)	9:00	
水泳	国府町農村勤労福祉センタープール	7月 5日(日)	開始式 8:30	
テニス (B・Cグループ)	千代テニス場		9:00	7月19日(日) 千代テニス場
弓道	鳥取市弓道場		10:00	7月12日(日)
ソフトボール (B・Cグループ)	倉田スポーツ広場ソフト場①②		8:30	7月12日(日) 倉田スポーツ広場ソフト場①②
ペタンク	Axis パードスタジアムサブグラウンド	7月12日(日)	8:30	7月19日(日) Axis パードスタジアムサブグラウンド
バスケットボール	河原町総合体育館		10:00	
女子バレーボール	鳥取市民体育館	7月19日(日)	10:00	
男子バレーボール	鳥取市民体育館	7月26日(日)	10:00	
バウンズボール	鳥取市民体育館	8月 2日(日)	9:00	
軟式野球 (Aグループ)	美保球場	9月 6日(日)	8:30	9月27日(日) 美保球場
陸上	ヤマタスポーツパーク陸上競技場	10月12日(月)	8:30	
◎総合閉会式	ヤマタスポーツパーク陸上競技場	10月12日(月)	陸上競技 終了後	

オープン種目

種目	会場	期日		予備日および会場
		月日	競技開始	
剣道	鳥取市公式ウェブサイトへ掲載	6月14日(日)	10:00	
柔道	鳥取市武道館	6月21日(日)	10:00	
ローイング	湖山池ボートコース	6月28日(日)	8:00	
ソフトバレーボール	鳥取市民体育館	10月 4日(日)	9:30	

※ 屋外競技の雨天順延は1回とする

※ 雨天等による試合実施についての問い合わせは、午前7時以降に市役所へ電話すること（電話 0857-22-8111）

※ 都合により、日時及び会場を変更する場合があります。予めご了承ください。

予選

種目	会場	期日		予備日および会場
		月日	競技開始	
軟式野球 (Aグループ)	倉田スポーツ広場野球場①②	5月17日(日)	8:30	6月14日(日) 倉田スポーツ広場野球場①②
ソフトボール (B・Cグループ)	倉田スポーツ広場ソフト場①②	5月31日(日)	8:30	6月7日(日) 倉田スポーツ広場ソフト場①②
女子バレーボール	鳥取市民体育館	6月14日(日)	10:00	
バスケットボール	河原町総合体育館	6月14日(日)	10:00	
男子バレーボール	鳥取市民体育館	7月12日(日)	10:00	

参加申込期限

期日	競技種目
4月16日(木)	軟式野球
4月23日(木)	ソフトボール
5月7日(木)	ゲートボール
5月14日(木)	女子バレーボール、ソフトテニス、バスケットボール
5月21日(木)	卓球、グラウンド・ゴルフ
5月28日(木)	バドミントン
6月4日(木)	水泳、テニス、弓道
6月11日(木)	男子バレーボール、ペタンク
7月2日(木)	バウンスボール
9月10日(木)	陸上

※ 電子申請、メール等で参加申込みをする。

監督会議

監督会議では、競技実施要領の説明、競技実施要領の決定、組み合わせ抽選を行う。

- (1) 下表中の監督会議(ソフトボール、軟式野球、女子バレーボール、水泳、男子バレーボール、バスケットボール、陸上)は、いずれも午後6時30分より行う。なお、監督会議の出席者は、各校区2人までとする。
- (2) 予選開催の5種目(ソフトボール(B・Cグループ)、軟式野球(Aグループ)、女子バレーボール、男子バレーボール、バスケットボール)は、監督会議の際に本選の組合せも決定する。
- (3) 卓球、ゲートボール、テニス、ソフトテニス、バドミントン、ペタンクの監督会議および組合せ抽選は大会当日競技開始前に実施する。グラウンド・ゴルフ、弓道については、大会当日競技開始前に実施するが、打順等を各競技協会が事前に決定しておくこととする。
- (4) 申込みをしたにもかかわらず、監督会議を欠席した場合は、棄権扱いとする。

期日	競技種目	会場
4月23日(木)	軟式野球	監督会議会場は事前に 鳥取市公式ウェブサイトへ掲載
5月7日(木)	ソフトボール	
5月21日(木)	女子バレーボール	
5月28日(木)	バスケットボール	
6月11日(木)	水泳	
6月18日(木)	男子バレーボール	
9月17日(木)	陸上	

第69回鳥取市民スポーツ大会

- 1 主催 鳥取市、鳥取市教育委員会、鳥取市地域体育会連合会、鳥取市スポーツ推進委員協議会
 2 後援 鳥取市自治連合会、鳥取市連合婦人会
 3 主管 鳥取市スポーツ協会
 4 総則

(1) 開催の主旨 市民のスポーツ活動の充実と体力の増進をはかり、健康で明るい生活づくりを基とする。

(2) 実施要項

① 競技種目

得点種目

ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、ソフトテニス、バスケットボール、
 バドミントン、水泳、テニス、弓道、女子バレーボール、ペタンク、男子バレーボール、
 ソフトボール、軟式野球、陸上、バウンスボール（16種目）

ソフトテニス、テニス、軟式野球、ソフトボールについては、下記のとおり実施する。
 （A、B・Cの隔年開催とする。）

ソフトテニス：Aグループ テニスは：B・Cグループ
 軟式野球：Aグループ ソフトボール：B・Cグループ

オープン種目 柔道、剣道、ローイング、ソフトバレーボール（4種目）

② 期日、会場 別表（P2、3）のとおり

③ グループ区分

Aグループ (15校区)	美保 湖山西	城北 醇風	世紀 賀露	浜坂 青谷	岩倉 末恒	美保南 日進	湖山 久松	面影
Bグループ (15校区)	宮ノ下 米里	稲葉山 富桑	若葉台 鹿野	浜村 明德	河原第一 用瀬	修立 大正	津ノ井 福部	中ノ郷
Cグループ (14校区)	美和 瑞穂	国府東 西郷	遷喬 逢坂	倉田 神戸	湖南 明治	宝木 東郷	佐治	散岐

※小学校区での参加を基本とする。

ただし、校区再編に伴い統合した校区においては、旧校区での参加を認める。

旧校区での参加を希望する場合は、全競技の1/2以上出場することを条件とし、該当小学校区内で合意形成が得られたものに限る。

④ 競技方法 全種目A・B・Cグループに分けて競技を行う。

⑤ 予選

バスケットボール、軟式野球、女子バレーボール、ソフトボール、男子バレーボールについては予選を行い、各グループの上位4チーム(バスケットボールは上位8チーム)が決勝に出場する。

⑥ 参加選手資格

ア 鳥取市民であること（鳥取市に住民登録のある者）

イ 出場校区内に住民登録のある者（市内で異動の場合は、令和8年4月1日に居住している校区、または地区）で各種別競技団体の認めるアマチュア競技者であること。

ウ 小学校、中学校に在学している者は対象外とする（ただし、オープン種目は除く。）

エ 年齢の算出基準は、令和8年4月1日現在の満年齢とする。

オ ふるさと選手について（次のすべてを満たす校区とする）

（ア）ふるさと選手登録を認める校区

- ・ふるさと選手の出場を希望する校区
- ・試合に勝つことを目的にするのではなく、あくまでも試合に出場するための人員補充を目的としている校区

（イ）ふるさと選手の登録要件（次のすべてを満たす者とする）

- ・⑥ア～エの参加選手資格のすべてを満たしている者
- ・過去に、ふるさと選手として出場する校区に1年以上居住していた者
- ・現在居住している校区体育会から選手登録されていない者

※現在居住している校区での出場を基本としているため、現在居住している校区体育会から出場を打診された場合（登録の前後に関わらず）は、現在居住している校区で出場すること

(ウ) ふるさと選手の起用 (人数制限)

- ・ふるさと選手は、校区体育会ごと及び競技ごとに選手登録者総数の3分の1以内とし、尚且つ試合に出場できるふるさと選手の数、当該競技の試合選手の3分の1以内とする。

ふるさと選手の起用 (人数制限)

参加者数	1～2人	3～5人	6～8人	9～11人	12～14人	15～17人	18～20人
ふるさと選手の人数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人

⑦ 参加申込

ア 申込期限 別表(P3)のとおり

イ 棄権扱いとする場合

- ・申込期限までに申込みがない場合
- ・監督会議を欠席した場合

ウ 申込先

〒680-8571 鳥取市幸町7番地
鳥取市スポーツ協会事務局 (鳥取市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課内)
電話 0857-20-3363

エ 申込方法

原則、①電子申請 ②Eメール sports@city.tottori.lg.jp とする。

電子申請、Eメールでの提出が困難な場合は、

③持参 ④郵送 ⑤FAX (0857-20-3954) とする。

※郵送の場合は消印日、Eメール・FAXの場合は到着日時を申込日として扱う。

※監督印は必要ない。

※申込方法のEメール・FAXについては、送信後に電話連絡(8時30分～17時15分)をすること。

オ 申込書様式

種目			校区			
監督	(氏名)					
	(住所)					
	(電話番号)					
	(メールアドレス)					
氏名	性別	年齢	住所	段・級別	備考	
1						
2						
3						
4						

種目	卓球	校区				
監督	(氏名)					
	(住所)					
	(電話番号)					
	(メールアドレス)					
	氏名	年齢	住所	備考		
1						
2						

校区		部門	男子一部・二部			
監督	(氏名)					
	(住所)					
	(電話番号)					
	(メールアドレス)					
種目	氏名	年齢	住所	備考		
一部(年齢制限なし)						
25m自由形						
25m自由形						
25m平泳						
25m平泳						

校区		部門				
監督	(氏名)					
	(住所)					
	(電話番号)					
	(メールアドレス)					
部	種目	氏名	年齢	住所	備考	
1	100m					
1	砲丸投					
1	走幅跳					
2	100m					
2	砲丸投					

- 注) ・社会奉仕活動等補償制度申込みに必要なため、必ず申込書の全ての項目を記入のこと。
- ・参加申込書の備考欄に「ふるさと選手 (現校区〇〇校区)」と記入し、提出すること。
 - ・電話や口頭による申込みは受け付けない。可能であるならば、エクセルデータによる提出が望ましい。
 - ・Eメール・FAXで提出する場合、必ず事務局へ送信の電話連絡を行うこと。
 - ・メールアドレスは、携帯のキャリアメール (@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp等)ではなく、ウェブメール (@gmail.com、@yahoo.co.jp、@icloud.com等)のドメインのメールを記入すること。
 - ・年齢資格を問う種目については、申込書のほか当日提出のメンバー用紙にも氏名、年齢を記載すること。(年齢は令和8年4月1日現在)

※要項、参加申込書は、鳥取市公式ウェブサイトからダウンロードできます。

- ⑧ 抽 選 監督会議において行う。(日程は別表P 3のとおり。)
- ⑨ 役員構成 団長1名、総監督1名、種目別の監督各1名とする。
- ⑩ 選 手 各校区は本選・決勝の主旨に則り、多くの市民が参加できるよう民主的な方法で選手を選抜すること。
出場選手は、体調が悪いときは参加を辞退すること。
- ⑪ 表 彰 ・各得点種目の表彰は3位まで(ただし、水泳及び陸上は6位まで)とし、優勝チームに優勝杯を授与する。(持ち回り)
・総合成績の表彰は各グループ6位までとし、優勝校区に優勝旗、2位～6位の校区には杯を授与する。(持ち回り)

⑫ 総合開会式及び閉会式

総合開会式 6月14日(日) 午前9時 鳥取市民体育館
総合閉会式 10月12日(月) 陸上競技終了後 ヤマタスポーツパーク陸上競技場

⑬ 得点計算方法、順位決定方法

ア 順位点

各種目の順位点は次のとおりとする。ただし、同順位の校区が複数となった場合の順位点は、同順位となった校区が占める順位の得点の合計を、当該校区数で除した得点とする。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得点	10.00	9.00	8.50	8.00	7.50	7.00	6.50	6.00

順位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	参加しない校区
得点	5.50	5.00	4.50	4.00	3.50	3.00	2.50	0.00

【同順位の校区が複数となった場合の順位点の例】

4校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区

5校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	7.50	1校区

6校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	7.25	2校区

7校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	7.00	3校区

8校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区

9校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	5.50	1校区

10校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	5.25	2校区

11校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	5.00	3校区

12校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.75	4校区

13校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.50	5校区

14校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.25	6校区

15校区参加の場合

順位	得点	
1位	10.00	
2位	9.00	
3位	8.25	2校区
5位	6.75	4校区
9位	4.00	7校区

イ 参加点

各種目に参加した校区に対して、順位点とは別に3点を参加点として与える。

ウ 各校区の1試合目で失格・棄権となった場合は、順位点、参加点とも与えない。

エ 総合順位は、参加点と順位点の合計を種目点とし、その合計（総合得点）により決定する。なお、同点校区のあるときは、上位入賞の多い校区を上位とし、それでも同じ場合は、参加種目数の多い校区を上位とする。グラウンド・ゴルフ、弓道、水泳、陸上の順位についても、同点の場合は同じ方法で決定する。

オ 各種目について、順位が出て結果が公表された後に失格となった校区があっても、下位の校区の順位の繰り上げは行わない。（当該順位は欠順とする。）

カ 悪天候等による競技中止時の得点計算方法及び順位決定方法

(ア) 男子バレーボール、女子バレーボール、ゲートボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、バウンズボール

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・同順位の校区が揃った時点その順位確定とする。
- ・準々決勝進出校区が確定しないで競技が中止となった場合、参加校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・準決勝進出校区が確定しないで競技が中止となった場合、準々決勝進出校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・決勝進出校区が確定しないで競技が中止となった場合、準決勝進出校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・優勝校区が確定しないで競技が中止となった場合、決勝進出校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。

(イ) 卓球、ペタンク

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・ABCのグループごとに、予選リーグが終了しないで競技が中止となった場合、参加校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。
- ・決勝トーナメントが途中で中止となった場合、順位点については、(ア)と同様とする。

(ウ) バスケットボール、ソフトボール、軟式野球

- ・予選の第1試合の受付が完了した時点で、参加予定校区すべてに参加点を与える。
- ・順位点については、(ア)と同様とする。

(エ) グラウンド・ゴルフ、弓道

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・競技途中で中止となった場合、参加校区に付与される予定であった順位点をABCのグループごとに合計し、それらの校区に均等配分する。

(オ) 陸上

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・リレー、駅伝については、招集が完了した時点で、参加点を与える。
- ・ABCのグループごとに終了している種目の合計得点により順位を決定し、順位点を与える。

(カ) 水泳

- ・当日の受付が完了した時点で、参加点を与える。
- ・ABCのグループごとに終了している種目の合計得点により順位を決定し、順位点を与える。

ただし、上記の(ア)～(カ)の扱いについて、ウの場合は適用しない。

⑭補償制度

試合中に生じた偶発的な事故等の保障については、鳥取市が負担して加入する「鳥取市社会奉仕活動等補償制度」を適用する。主な内容は次のとおり。

ア 傷害事故に関する補償

活動者（選手等）が死亡又は負傷した場合に補償

- (ア) 死亡補償金 ー 500万円
- (イ) 後遺障害補償金 ー 障害の程度により500万円×約款規定割合の金額
- (ウ) 入院補償金 ー 3,000円/日
- (エ) 通院補償金 ー 1,500円/日

イ 損害賠償事故に関する補償

活動者（選手等）が第三者の身体や財物又は第三者からの預かり品等に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合に補償（免責金額は5,000円）

- (ア) 身体賠償 ー 1億5,000万円/事故（限度額）
- (イ) 財物賠償 ー 1億5,000万円/事故（限度額）
- (ウ) 保管物賠償 ー 3,000万円/事故（限度額）

※故意による場合や活動者の脳疾患、疾病または心神喪失による場合は、補償が適用されない。

※事故の発生した日から14日以内に鳥取市スポーツ協会（電話 0857-20-3363 問い合わせ含む）へ報告すること。

※参加申込書の氏名漢字間違いや姓の変更があった場合は、鳥取市スポーツ協会（電話 0857-20-3363）までご相談ください。

**※制度の詳細は、「鳥取市ボランティア・市民活動センター」のウェブサイト
(<https://www.tottoricity-syakyo.or.jp/tvc/hoken/>)を確認のこと。**

⑮託 児

女子バレーボール競技、陸上競技において託児サービスの利用申し込みを先着順で受け付ける。
詳細は「第69回鳥取市民スポーツ大会」のウェブサイトに記載する。

⑯服 装

軽装でスポーツのできる服装とし、胸部又は背部に校区名を明記するものとする。
ほか、各種目の競技規定に準ずる。

⑰大会運営について

- ア 競技及び大会参加資格における疑義が生じた場合は、4総則(2)実施要項に基づいて、主催者及び主管者が判定し、規定違反が生じた場合は、その時点で失格とする。
- イ 相互審判、相互役員等の義務付けがある種目について、開始予定時刻10分経過後、人数が揃わない場合は、棄権とする。

⑱参加料 無 料

◆個人情報取扱いについて◆

個人情報については、今大会の競技運営目的以外には一切使用しない。

(1) ゲートボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、選手5名以上8名以内とする。
(チームには専任の監督を置くことができる。ただし、監督は選手として参加できない。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者も出場できる。
審判員3名を帯同すること。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
- (4) 使用球 主催者により定めた公認球
- (5) 競技規則 (公財)日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則による。
試合開始時点で選手5名揃わない場合は棄権とする。

2 服 装

靴は運動靴を使用すること。ゼッケンは、チームで持参すること。

- 3 当日の受付は8時30分までとし、受付締め切り後に組合せ抽選を行う。
- 4 スティックはチームで持参すること。

(2) ソフトテニス競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。(監督は選手を兼ねることができる。)
- 【A・Bグループ】監督1名、選手10名以上16名以内とする。1チーム5組による点取り法。
女子のペアを1組と性別を問わないが50歳以上のペアを1組必ず含むこと。
その他の3組は、年齢・性別を問わない。
- 【Cグループ】監督1名、選手6名以上10名以内とする。1チーム3組による点取り法。
女子のペアを1組必ず含むこと。その他の2組は、年齢・性別を問わない。
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)に在学している者は対象外とする。
専門学校に在学している者は出場できる。
前年度国体中国予選大会において県代表となった者の出場は認めない。
- (3) 競技方法 ①トーナメントまたはリーグ戦とし、参加数等により決定する。
②全試合ダブルスによる対抗戦とする。
- | | | | | | |
|---------|---|-------|-------|---|-----|
| A・Bグループ | 1 | フリー | Cグループ | 1 | フリー |
| | 2 | 女子 | | 2 | 女子 |
| | 3 | フリー | | 3 | フリー |
| | 4 | 50歳以上 | | | |
| | 5 | フリー | | | |
- ③各試合とも7ゲームマッチ。
④相互審判とする。
- (4) 使用球 赤Mまたは、ケンコーボールを使用する。
- (5) 競技規則 (公財)日本ソフトテニス連盟の現行のソフトテニスハンドブックにより行う。
競技開始時点で編成組数(A・B5組、C3組)が揃わない場合は棄権とする。
- (6) 本年度は、Aグループの開催とする。

2 服 装

靴は必ずテニスシューズを履くこと。

- 3 当日の受付は8時30分までとし、受付終了後に組合せ抽選を行う。

(3) 卓球競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、男子 5 名以上 7 名以内、女子 5 名以上 7 名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
男子は 30 歳以上 1 名、40 歳以上 1 名を含むこと。
- (3) 競技方法 ①硬式によるシングルス 4 試合、ダブルス 3 試合として下記の順で行う。
- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1 女子シングルス | 2 男子シングルス |
| 3 女子ダブルス | 4 男子ダブルス(40 歳以上、30 歳以上) |
| 5 混合ダブルス | 6 女子シングルス |
| 7 男子シングルス | |
- ②予選リーグの後に決勝トーナメントを行う。
- ③予選リーグは、勝敗にかかわらず 7 番まで試合を行う。
順位決定は、勝敗により行う。ただし、勝敗が並んだ場合は、予選リーグの全対戦成績による勝率で順位を決定する。
- ④決勝トーナメントは、4 マッチ先取した時点で対戦を打ち切る。
- (4) 使用球 (公財) 日本卓球協会公認硬式プラスチック球 40 mm ホワイトを使用する。
- (5) 競技規則 現行の日本卓球ルールによる。
- 2 当日の受付は 8 時 30 分までとし、受付終了後に組合せ抽選を行う。

(4) グラウンド・ゴルフ競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 6 名以上 9 名以内とする。(監督は選手を兼ねることができる。男女不問。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者も出場できる。
1 ゲーム(8 ホール)ごとに選手変更を認める。ケガ、体調が悪くなった場合はその場で認める。
- (3) 競技方法 ①チーム対抗戦とする。(6 人編成)
②16 ホールとし、8 ホール×2 コースとする。
- (4) 競技規則 (公社) 日本グラウンド・ゴルフ協会ルールによる。ただし、一部鳥取市民スポーツ大会ルールを適用する。
- 2 参加申込書の 1~6 番は当日の打順とする。7 番以降は、補欠とする。(必ず 1 名以上補欠をおくこと)
※プログラム作成の関係上、申込期限以降の変更はできない。
- 3 当日の受付は 8 時 30 分までとし、9 時より開始式を行う。受付時、監督及び選手は必ずそろっていること。
※大会当日の変更は補欠登録された者のみとする。

(5) バドミントン競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。(監督は選手を兼ねることができる。)
- 【A・Bグループ】 監督 1 名、選手 10 名以上 16 名以内とする。女子のペア 2 組と 40 歳以上のペア (性別制限なし) を 1 組含むこと。
- 【Cグループ】 監督 1 名、選手 6 名以上 10 名以内とする。女子のペア 1 組と 40 歳以上のペア (性別制限なし) を 1 組含むこと。
- (2) 参加制限 高校・大学 (大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
- (3) 競技方法 ①トーナメント方式で行う。
②全試合ダブルスによる対抗戦とする。ただし、対戦校区が初戦の場合は勝敗に関係なく全ての対戦を行う。
- | | | | | | |
|---------|---|-------|-------|---|-------|
| A・Bグループ | 1 | フリー | Cグループ | 1 | フリー |
| | 2 | 女子 | | 2 | 女子 |
| | 3 | 40歳以上 | | 3 | 40歳以上 |
| | 4 | 女子 | | | |
| | 5 | フリー | | | |
- (4) 審判 原則、第 1 試合は相互審判とし、第 2 試合以降は敗者審判とする。
- (5) 競技規則 現行の (公財) 日本バドミントン協会制定のルールによる。
- 2 受付、監督会議等 8 時 30 分に参加受付を行い、その後監督会議と組合せ抽選を行う。

(6) 水泳競技

1 実施要領

種目

- | | | | |
|-------|-------------|------------------|------------------|
| ①男子の部 | 一部 (年齢制限なし) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| | 二部 (30 歳以上) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| | 三部 (40 歳以上) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| | 四部 (50 歳以上) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| ②女子の部 | 一部 (年齢制限なし) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| | 二部 (30 歳以上) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| | 三部 (40 歳以上) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
| | 四部 (50 歳以上) | 25 m (自由形、平泳、背泳) | 50 m (自由形、平泳、背泳) |
- 2 参加制限 高校・大学 (大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
1 校区 1 種目につき 2 名以内、1 人 2 種目以内とする。同一種目 (泳法) で 2 部以上の出場は認めない。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- 3 補欠選手 補欠選手は、全種目を通して 15 名以内とする。これ以上の選手変更は認めない。
- 4 泳法違反でもタッチ、あおり足等は参加点を与える。ただしフライング、足着きは参加点を与えない。

(7) テニス競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。(監督は選手を兼ねることができる。)
- 【A・Bグループ】 監督 1 名、選手 10 名以上 16 名以内 (うち女子は 3 名以上) とする。男子については、45 歳以上を 1 名含むこと。
- 【Cグループ】 監督 1 名、選手 6 名以上 12 名以内 (うち女子は 2 名以上) とする。
- (2) 参加制限 高校・大学 (大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
- (3) 競技方法 ①原則トーナメント方式で行うが、参加校区数によりリーグ戦とする場合がある。
②全試合ダブルスによる対抗戦とする。
- | | | | | | |
|-------------------|-----|----|-------|-----|----|
| A・Bグループ | フリー | 3組 | Cグループ | フリー | 2組 |
| | 女子 | 1組 | | 女子 | 1組 |
| ミックス 1 組 (女子のみも可) | | | | | |
- ③各試合とも 6 ゲームマッチ。(ノーアド方式)
- ④トーナメント方式で実施の場合、敗者戦を実施する。
(初回戦の敗者チーム同士で原則として 1 回のみ行う)
- (4) 競技規則 (公財) 日本テニス協会ルールによる。
試合開始時点で競技方法②を満たす 5 組または 3 組が揃わない場合は、棄権扱いとする。
- (5) 本年度は、B・Cグループの開催とする。

2 当日の受付は 8 時 30 分までとし、受付終了後に組合せ抽選を行う。

なお、受付終了前に雨天中止になった場合で、予備日に選手 (補欠含む) を変更する時は、予備日受付終了までに選手変更すること。

(8) 弓道競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1 校区 1 チーム。監督 1 名、選手 3 名以上 8 名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- 参加申込みは 8 名まで認めるが、大会当日受付時に参加申込書の中から出場者 5 名を確定させること。
- (2) 参加制限 高校・大学 (大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
前年度国体中国予選大会において県代表となった者の出場は認めない。
- (3) 競技方法 団体試合とする。
近的競技 (各自 8 射、計 24 射)
前後半の選手交代を認める。
- (4) 同中の場合は、協会の定める方法により順位を決することとする。

2 参加申込みの際に、段・級別を明記すること。

※プログラム作成の関係上、申込締切後の選手追加や変更はいかなる理由でも一切認めません

3 当日の受付は 9 時 30 分までとする。

(9) ソフトボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、選手9名以上20名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 35歳以上とする。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
- (4) 使用球 ゴム検定12インチ球を使用する。
- (5) 競技規則 ①本年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによる。
②予選・本選ともイニング数を7回とし、勝敗が決しない場合は、8回よりタイブレークを採用する。また、3回以降15点差、4回以降10点差、5回以降7点差でコールドゲームとする。
③時間制を採用する。(1時間20分を超えたら新しいイニングには入らない。)
④大会特別規則を定めることがある。
⑤投捕間の距離を男子投手14.02m、女子投手12.19mとする。
- (6) その他 優勝チームは鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の鳥取市代表チームとして、東部地区予選に出場する。
- (7) 本年度は、B・Cグループの開催とする。

2 服装

選手は、ユニフォームの胸部に校区名を明記するものとする。ユニフォームナンバーをつけること。
(選手1～99、監督30、主将10)ユニフォームにナンバーのない選手の出場は認めない。

(10) バスケットボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、選手5名以上15名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校に在学している者は対象外とする。
試合中35歳以上が必ず1名出場していること。また、大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は、1名(試合中の交代は可能)までとする。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
競技時間は、10分ハーフ(休憩5分)とする。
前・後半とも流し10分で行うが、後半残り2分は時計を止める。
前試合終了後10分で次の試合を開始する。
- (4) 使用球 7号球を使用する。
- (5) 競技規則 現行(公財)日本バスケットボール協会規則による。

2 服装

選手は、チームごとに同色のユニフォームを着用し、胸部と背中に背番号を明記すること。

(11) ペタンク競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チームとし、3名のトリプルスで試合を行うものとする。
チームは、監督1名、選手6名以内とする。(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 競技方法 予選リーグの後に決勝トーナメントを行う。
試合中は、その試合に出ている3名以外はコートの中に入れない。
- (3) 競技規則 現行(公社)日本ペタンク・ブール連盟競技規則による。ただし、一部ローカルルールを適用する。

2 服 装

選手は、スポーツに適した服装・履物とし、校区名が分かる服装で参加すること
(サンダルは許可しない)

3 大会に使用するボールは、公認球とする。

貸し出しボールが必要な校区は、参加申込書に貸出希望の有無を必ず明記すること。

4 当日の受付は8時までとし、受付時に組合せ抽選を行う。

また、8時20分より開始式を行う。

5 気象警報(大雨、洪水、暴風など)発令時以外、雨天でも実施する。

(12) 女子バレーボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手9名以上15名以内とする。
(監督が女子の場合は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は、3名まで登録することができるが、出場は2名のみとする。
試合中40歳以上が必ず2名出場していること。
- (3) 競技方法 トーナメント方式(3セットマッチ)で行う。
- (4) 競技規則 現行(公財)日本バレーボール協会制定規則(9人制)による。
ネット:2.05m カラーボール4号球を使用する。

2 予選当日の受付は9時までとする。

本選当日の受付は9時30分までとする。

(13) 男子バレーボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手9名以上15名以内とする。
(監督が男子の場合は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は、3名まで登録することができるが、出場は2名のみとする。
試合中40歳以上が必ず2名出場していること。
- (3) 競技方法 トーナメント方式(3セットマッチ)で行う。
- (4) 競技規則 現行(公財)日本バレーボール協会制定規則(9人制)による。
ネット: 2.38m カラーボール5号球を使用する。
- 2 当日の受付は9時30分までとする。

(14) バウンスボール競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム以内(監督、コーチ、選手含めて5名以内)とする。
※監督・コーチは選手を兼ねても良い。
※男女不問。
- (2) 参加制限 高校・大学(大学院・短期大学を含む)・専門学校に在学している者は対象外とする。
- (3) 競技方法 ①校区対抗戦とする。
※順位はグループごとに決定する。
②予選リーグ戦の後、上位チームによる決勝トーナメント方式とする。
③1セット11点3セットマッチを行う。
④1セットの制限時間は10分とし、ラリー中は時間がきてもラリーが終わるまで継続する。
⑤同点でタイムアップの場合は、どちらかのチームが1得点するまで試合を続行する。
⑥順位の決定は、1. 勝敗数、2. セット率、3. 得失点差、4. 対戦相手との勝敗で決する。
- (4) 競技規則 鳥取県バウンスボール協会競技規則による。
(令和5年2月20日改訂版)
ただし、70歳以上の方、及び身体に障がいがある方は、ツーバウンドで打ってもよい。
(70歳以上は申出をして黄色いタスキをつけること)
- 2 服 装 必ず室内用シューズを履くこと。
- 3 参加申込 7月2日(木)午後5時までに鳥取市スポーツ協会へ提出すること。

(15) 軟式野球競技

1 実施要領

- (1) チーム編成 1校区1チーム。監督1名、選手9名以上25名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)
- (2) 参加制限 高校に在学している者は対象外とする。
大学生(大学院・短期大学を含む)・専門学校生の参加を認める。
※3名以内とし投手・捕手では使用しないこと。学生を使用した場合は、
オーダー交換の際に守備位置を申告すること。
- (3) 競技方法 トーナメント方式で行う。
- (4) 使用球 公認球(M号(メジャー))を使用する。
- (5) 競技規則 ①現行公認野球規則による。予選・本選ともイニング数を7回とし、5回以降
7点差でコールドゲームとする。
②時間制を採用する。(1時間30分を超えたら新しいイニングには入らない。)
③DH(指名打者)を使用することが出来る。
④大会特別規定を定めることがある。
- (6) 本年度は、Aグループの開催とする。

2 服 装

選手は、ユニフォームの胸部に校区名と背中に背番号を明記するものとする。

(16) 陸上競技

1 実施要領

種目

(1) 男子の部

一部(30歳未満) 100m、砲丸投(5K)、走幅跳

二部(30歳以上) 100m、砲丸投(5K)、走幅跳

三部(40歳以上) 100m、砲丸投(5K)

※砲丸投げの会場を補助競技場とする。

(2) 女子の部

一部(30歳未満) 100m、走幅跳

二部(30歳以上) 60m、砲丸投(2.721K)、走幅跳

三部(40歳以上) 60m

※砲丸投げの会場を補助競技場とする。

(3) リレーの部

総合リレー800m 8名(女子うち1名は30歳以上とする。)

①女子 → ②女子 → ③女子 → ④女子 →

⑤男子三部 → ⑥男子二部 → ⑦男子一部 → ⑧男子

(4) 駅伝の部

①1校区1チーム、選手6名、補欠3名(以内)とする。

②選手は、校区名及び校区番号並びに走者順の枝番号が入ったゼッケンを各校区で準備し、胸及び背部に着用すること。

③自転車、自動車による応援及び伴走、随行などは禁止する。

④区間及びコース 第1区～第5区までとする。

競技場トラックと総合運動公園内で行う。

2 参加制限

(1) 高校に在学している者は対象外とする。

(2) トラック競技、フィールド競技共に1校区1種目につき1名以内とする。

リレー・駅伝種目を除き、1人2種目以内とする。(同一種目で2部以上の出場は認めない。)

(3) スパイクの着用は禁止する。

3 補欠選手

補欠選手は、全種目(駅伝を除く)を通して男女各5名以内とする。これ以上の選手変更は認めない。

4 競技方法

校区対抗とし、各部の得点の合計点により順位を決定する。

リレーにおいてオーバーゾーン等で失格となった場合は参加点のみを与える。(故意でないものに限る。)

5 その他

監督会議での注意事項が守られていない場合は失格とすることもある。

記録表

卓球														
ゲートボール														
ソフトテニス														
グラウンド・ゴルフ														
弓道														
水泳														
テニス														
ペタンク														
女子バレーボール														
男子バレーボール														
バドミントン														
バスケットボール														
軟式野球														
ソフトボール														
陸上														
バウンズボール														

オープン種目

剣道競技

- 1 実施要領
 - (1) 個人試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。
 - (3) 参加制限 一般の部のみ（年齢、職域等の制限はなし）
 - (4) 競技規則 全日本剣道連盟審判規則による。
- 2 参加申込
5月28日（木）午後5時までに鳥取市スポーツ協会へ提出すること。（ただし、当日申込みも可）
申込書には段・級、年齢を明記すること。

柔道競技

- 1 実施要領
 - (1) 団体・個人試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。
 - (3) 参加制限 小学生・中学生を対象とする。
 - (4) 競技規則 国際柔道連盟試合審判規程及び市民スポーツ大会申し合わせ事項による。
- 2 参加申込
5月28日（木）午後5時までに鳥取市スポーツ協会へ提出すること。申込書には段・級別を明記すること。
- 3 当日の受付は午前9時までとする。

ローイング競技

- 1 実施要領
第42回鳥取市民レガッタを市民スポーツ大会とあわせて開催する。
 - (1) 団体試合とする。
 - (2) 競技方法 トーナメント方式で行う。ただし、敗者復活戦を行う。
 - (3) 参加制限 なし
- 2 参加申込
大会要項を確認のうえ申込先へ提出すること。（要項は鳥取市スポーツ協会まで）

ソフトバレーボール競技

- 1 実施要領
受付 8時40分～、開会式 9時10分～、競技開始 9時30分～
 - (1) チーム編成 1校区最大2チーム（監督1名、選手男女各4名以内）とする。
（監督は選手を兼ねることができる。）
 - (2) 参加制限 試合男女各2名が出場すること。年齢は18歳以上とする。（高校生不可）
 - (3) 競技方法 予選リーグの後に予選順位ごとの決勝トーナメントを行う。
 - (4) 競技規則 現行の（公財）日本バレーボール協会制定の「ソフトバレーボール競技規則」及び本大会の「開催要項」による。使用球は（公財）日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用する。
 - 2 服装
選手はチームごとに同色のユニフォームを着用し、胸部と背中に背番号を明記すること。
 - 3 参加申込
9月4日（金）午後5時までに鳥取市スポーツ協会へ提出すること。
- ※抽選は行わない。（オープン競技のため、事務局にて予選リーグを振り分ける）

鳥取市民スポーツ大会年度別優勝校区

第 1 回	(昭和 33 年)	醇 風	第 35 回	(平成 4 年)	岩 倉・世 紀
第 2 回	(昭和 34 年)	湖 山	第 36 回	(平成 5 年)	城 北・津ノ井
第 3 回	(昭和 35 年)	大 正	第 37 回	(平成 6 年)	賀 露・津ノ井
第 4 回	(昭和 36 年)	明 徳	第 38 回	(平成 7 年)	賀 露・世紀
第 5 回	(昭和 37 年)	醇 風	第 39 回	(平成 8 年)	美 保・美保南
第 6 回	(昭和 38 年)	醇 風	第 40 回	(平成 9 年)	賀 露・中ノ郷
第 7 回	(昭和 39 年)	賀 露	第 41 回	(平成 10 年)	賀 露・中ノ郷
第 8 回	(昭和 40 年)	賀 露	第 42 回	(平成 11 年)	面 影・美保南
第 9 回	(昭和 41 年)	明 徳	第 43 回	(平成 12 年)	面 影・美保南
第 10 回	(昭和 42 年)	日 進	第 44 回	(平成 13 年)	醇 風・富 桑
第 11 回	(昭和 43 年)	美 穂	第 45 回	(平成 14 年)	浜 坂・中ノ郷
第 12 回	(昭和 44 年)	賀 露	第 46 回	(平成 15 年)	醇 風・津ノ井
第 13 回	(昭和 45 年)	稲葉山	第 47 回	(平成 16 年)	美 保・若葉台
第 14 回	(昭和 46 年)	稲葉山	第 48 回	(平成 17 年)	美保南・若葉台・倉 田
第 15 回	(昭和 47 年)	城 北	第 49 回	(平成 18 年)	美 保・津ノ井・倉 田
第 16 回	(昭和 48 年)	稲葉山	第 50 回	(平成 19 年)	面 影・津ノ井・倉 田
第 17 回	(昭和 49 年)	稲葉山	第 51 回	(平成 20 年)	面 影・中ノ郷・倉 田
第 18 回	(昭和 50 年)	面 影	第 52 回	(平成 21 年)	面 影・中ノ郷・修 立
第 19 回	(昭和 51 年)	稲葉山・面 影	第 53 回	(平成 22 年)	浜 坂・津ノ井・遷 喬
第 20 回	(昭和 52 年)	稲葉山・面 影	第 54 回	(平成 23 年)	美保南・津ノ井・修 立
第 21 回	(昭和 53 年)	稲葉山・浜 坂	第 55 回	(平成 24 年)	面 影・津ノ井・修 立
第 22 回	(昭和 54 年)	稲葉山・浜 坂	第 56 回	(平成 25 年)	面 影・津ノ井・修 立
第 23 回	(昭和 55 年)	面 影・末 恒	第 57 回	(平成 26 年)	面 影・津ノ井・倉 田
第 24 回	(昭和 56 年)	湖 山・岩 倉	第 58 回	(平成 27 年)	浜 坂・津ノ井・修 立
第 25 回	(昭和 57 年)	面 影・岩 倉	第 59 回	(平成 28 年)	美 保・津ノ井・修 立
第 26 回	(昭和 58 年)	美 保・末 恒	第 60 回	(平成 29 年)	面 影・津ノ井・修 立
第 27 回	(昭和 59 年)	城 北・岩 倉	第 61 回	(平成 30 年)	岩 倉・津ノ井・修 立
第 28 回	(昭和 60 年)	湖 山・岩 倉	第 62 回	(平成 31 年)	美 保・津ノ井・修 立
第 29 回	(昭和 61 年)	面 影・世 紀	第 63 回	(令和 2 年)	大会中止
第 30 回	(昭和 62 年)	岩 倉・津ノ井	第 64 回	(令和 3 年)	オープン競技
第 31 回	(昭和 63 年)	城 北・美保南	第 65 回	(令和 4 年)	末 恒・修 立・遷 喬
第 32 回	(平成元年)	城 北・世 紀	第 66 回	(令和 5 年)	浜 坂・津ノ井・遷 喬
第 33 回	(平成 2 年)	城 北・浜 坂	第 67 回	(令和 6 年)	美 保・津ノ井・遷 喬
第 34 回	(平成 3 年)	城 北・修 立	第 68 回	(令和 7 年)	浜 坂・津ノ井・遷 喬

※第 6 7 回大会までは、大会名称は市民体育祭

～鳥取市からのメッセージ～
限りある資源を大切にしましょう